自分らしいアレンジで楽しむ

イラストレッスン

手帳に描いたり、感謝の気持ちを伝えたり。暮らしの中でイラストが役立つシーンはたくさん。
絵は苦手……という人でも気らくに始められる、イラストを描く時のコツをまとめました。

楽しみながら描くことが大切

上手に描かれたイラストを見て、「私は苦手……」そう感じたことはありませんか？ でも、イラストの場合、モチーフを正確に描く必要はありません。「上達しなければ！」と意気込まずに、楽しむ気持ちが大切です。そのうえで、まずはお手本をなぞったり、まねたりすることから始めてみましょう。

色が加わるとぐっと華やかに

イラストを描くペンはどんなものでもOK。まずはふだんから使い慣れているペンで、“図形を描く”練習から始めてみましょう。描くことに慣れてきたら、色鉛筆やクレヨン、蛍光ペンなどで色付けを。色が加わることで、イラストにぐっとあなたらしい表情が生まれますよ。

Let's try!

イラストを暮らしに活用してみましょう

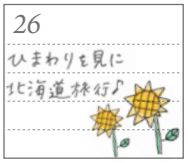
自分らしいイラストが描けるようになってきたなと感じたら、日常のさまざまなシーンにそれを活用してみましょう。例えば、毎日のお弁当にイラスト付きのメッセージを添えてみたり、お誕生日会やママたちとのランチ会で使う紙ストローやランチョンマットに、ひとりひとりの似顔絵を描いてみたり……。ちょっとしたひと手間で、その場が楽しく盛り上がりますよ。

贈りものに手書きのカードを添えて

旅行のおみやげやちょっとしたプレゼントを贈るときも、そのまま渡すのではなく、手書きのカードを添えるとぐっと華やかに。季節の花のイラストや、花言葉を一緒に記してみるのも素敵です。手書きの文字とイラストが、伝えたい気持ちをより引き立ててくれます。

ハッピーダイアリーで花日記をつけてみませんか？

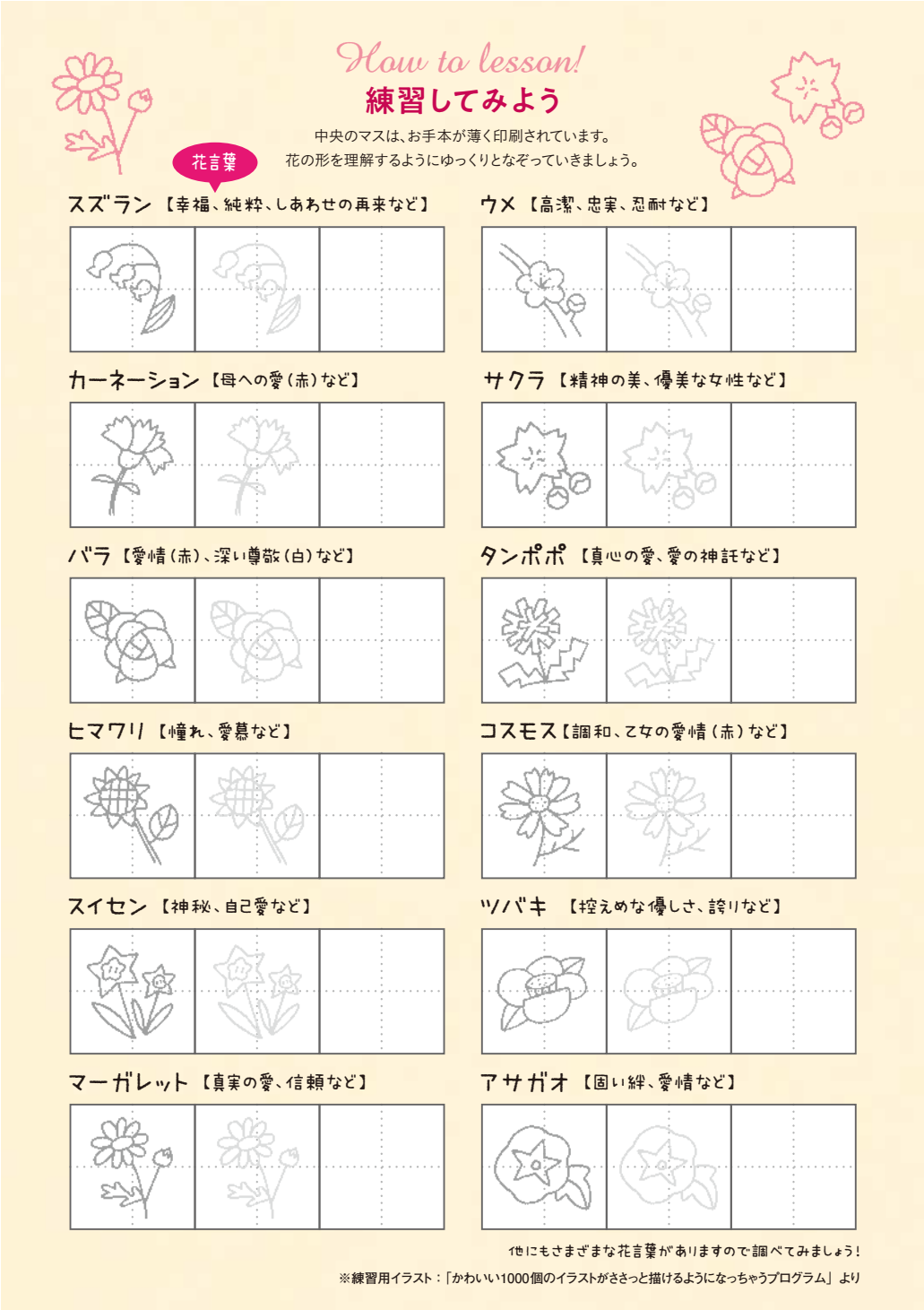
日々持ち歩く手帳に毎日ひとつ、花を描き留めてみませんか。描くのはその日に見つけた花でも、ふと思い浮かんだ花でもOK。描くほどにページが華やぎ、読み返したときにその時の記憶が自身のイラストとともによみがえります。



できる ワクワク、ずっと
ミニツク

もっとイラストレッスンを楽しみたいあなたにおすすめ♪
「かわいい1000個のイラストがささっと描けるようになっちゃうプログラム」を検索！

プリントアウト、ありがとうございます。カットして、スケ帳のメモページに貼って、あなただけのスケ帳を育ててください。



プリントアウト、ありがとうございます。カットして、スケ帳のメモページに貼って、あなただけのスケ帳を育ててください。